



第102号

宇治市の教育だより

発行 宇治市教育委員会
〒611-8501
京都府宇治市
宇治琵琶33番地
TEL (0774) 21-1879
<https://www.city.uji.kyoto.jp/>

編集 学校教育課内
「学校教育広報」
編集委員会

令和8年4月に宇治西小倉学園が開校します



西小倉小学校



西小倉中学校

西小倉小学校、北小倉小学校、南小倉小学校は、3月末に、地域の皆様と歩んできた長い歴史に幕を下ろします。今後は、施設一体型小中一貫校 宇治西小倉学園（にしおぐら小学校・西小倉中学校）として、新たに出発します。



宇治西小倉学園



北小倉小学校



南小倉小学校

お問い合わせ

宇治市教育委員会学校改革推進課
TEL. 0774-20-8772(直)
FAX. 0774-21-0400
e-mail : gakkokaikaku@city.uji.kyoto.jp



市ホームページ



公式インスタグラム

いよいよ4月から、中学校給食が始まります!

整備をすすめてきた宇治市学校給食センターがまもなく完成します。令和8年4月から宇治市のすべての中学校とにしおぐら小学校に温かく安全・安心でおいしい給食を提供します。

給食試食会について

今後、さまざまな形で保護者の皆様に参加していただける給食試食会を実施予定です。



宇治市学校給食センター

急募 宇治市立幼稚園、小・中学校の講師登録者募集中!

講師登録は随時受け付けています。迷っている方も、まずはご連絡ください。

【お問い合わせ先】 宇治市教育委員会教育総務課 教職員係

直通電話 0774-20-8755

メールアドレス : kyouikusoumuka@city.uji.kyoto.jp

先生の仕事に興味があるんだけど...



フルタイムでなくても大丈夫かしら?

宇治市「多様な学びの場創造事業」研究報告会を開催しました

令和7年11月28日(金) 榎島小学校、北榎島小学校、榎島中学校

「多様な学びの場創造事業」は、多様な子どもたちが地域で育ち、共に学び、共に生きる宇治市を目指し、インクルーシブ教育の理念の実現を目的に取り組んでいる事業です。

令和5年度から榎島小学校、北榎島小学校、榎島中学校の3校をモデル校として、京都府教育委員会、京都府立宇治支援学校等と連携を図りながら研究を進めてきました。

11月28日(金)には、研究内容を宇治市全体に広げるため、モデル校3校を会場に、小・中学校、就学前施設の教職員を対象とした研究報告会を開催しました。

今後も、特別支援教育の視点から教職員の実践力を高め、宇治市全体で「全ての子どもたちが大切にされ、誰一人取り残されない教育」を進めてまいります。



宇治市「多様な学びの場創造事業」の今後のあゆみ

～Make Your Move 行動しよう 「1人の10歩より、みんなの1歩」～

宇治市では、全ての子どもたちが大切にされ、誰一人取り残されない教育の実現に向け、全ての教職員が、確実な1歩を進めます。



●1～3年目

- 全ての教職員の「特別支援教育の視点から実践力」を高める**
- 全ての子どもたちが大切にされるための教職員・児童生徒の意識改革
 - 共生社会への相互理解の促進
 - 全ての子どもにとって分かりやすく学びやすい環境や授業づくり
 - 児童生徒の実態把握・有効なアセスメントと校内支援体制の強化

知る 共にやってみる

●3年目～新たなステージ

- 全ての学校の「特別支援教育の視点から実践力」を高める**
- 全ての教職員が、確実な1歩を進める
→研究成果を踏まえた「宇治市の指標」
 - 専門性の高い関係機関との連携強化
[宇治支援学校]…地域の子どもを共に育む
→地域のセンター的機能を生かした、チーム・伴走型連携
[乳幼児教育・保育支援センター]
→就学前施設から「切れ目ない支援」

共に手をつなぎ みんなでジャンプ

●インクルーシブ教育理念の実現

地域で育ち、共に学ぶ子どもたち

- 多様な子どもたちが等しく学ぶ機会、環境の創造
- 多様な子どもたちが安心して地域で育ち、学ぶことができる

第21回「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」

令和7年12月10日(水) 宇治市生涯学習センター第1ホール

本市では、毎年7月10日～19日、12月10日～19日を「市民安全・安心推進旬間」と定め、子どもたちの安全を含めた地域の安全を再点検する機会としています。「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」は、家庭・学校・地域が共に手を携えながら、地域ぐるみで子どもの安全を守る取組として、継続して実施しています。今回の会議では、京都府宇治警察署による「宇治警察署管内における非行少年の現状等について」の講演と、本市教育委員会から「宇治市小中学校の生徒指導の状況について」の講演を行い、宇治市立幼稚園・学校関係者、PTA・育友会関係者、各学区安全管理委員会の代表者等の参加がありました。



Ujiふれあい教室の移転について

不登校児童生徒自立支援教室(愛称:Ujiふれあい教室)は、宇治市生涯学習センターから、旧木幡幼稚園に移転し、屋外活動や学習活動の環境をさらに整え、子どもたちが元気に過ごせるように取り組んでいます。



『宇治市の教育だより』は、宇治市のホームページから閲覧することができます。

宇治市ホームページ <https://www.city.uji.kyoto.jp/> キーワード検索 宇治市の教育だより 検索



宇治市小中一貫教育推進協議会委員による視察から

小中一貫教育推進協議会は、本市の小中一貫教育の取組を総合的に推進することを目的に学識経験者、小・中学校保護者代表、地域関係団体代表、小・中学校関係者代表で構成しています。本協議会は定期的開催され、宇治市小中一貫教育の取組について協議するほか、各中学校ブロックの取組や合同研修、授業の様子を視察しています。本年度は、槇島小、大開小、岡屋小、木幡小、槇島中、南宇治中、東宇治中、黄檗中に委員が分かれて視察を行いました。

槇島中学校ブロック



槇島中学校ブロック教職員による、各学校の学力分析の共有とワーキンググループでの協議

「槇島中学校ブロック」の視察より 委員の感想

2小1中それぞれの学力の状況について、各校の強み、弱みまで細かく分析されていて、それをどのように生かしていくか、真剣に考えておられました。保護者の方にも、先生は真剣に子どもに向き合い、その子に応じた対応を考えているということや、このような場をもって連絡・協議しているということをもっと知ってもらってもよいのではないかと思います。全体会の後、テーマごとのグループ討論も拝見いたしましたが、どのグループも活発に話し合っておられ、先生方の熱量を感じました。

東宇治中学校ブロック

中学校生徒会主導による小学6年生体験入学



「東宇治中学校ブロック 東宇治中学校」の視察より 委員の感想

中学生による、小学6年生の半日入学体験を見させていただいて、小学6年生から中学1年生の1年間で、すごく成長するんだなと思いました。中学生が、1年生当時に抱えていた悩みをランキング式の寸劇で発表していて、6年生の緊張もほぐれているようでした。先生方のお力もあると思うのですが、中学生がよく頑張っており、生徒の力で作り上げたことやその想いが伝わってきました。

第3回 「みんなと育む」——社会とのつながり

シリーズコラム

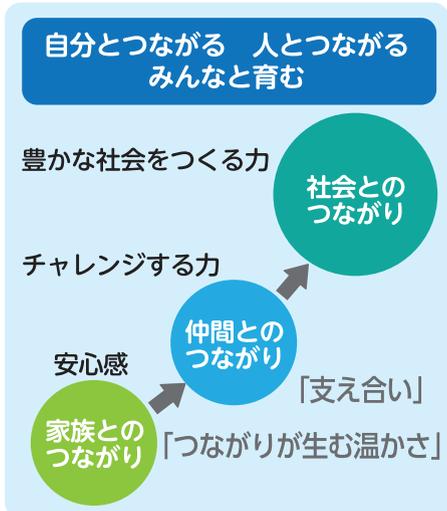
「自分とつながる、人とつながる、みんなと育む」

子どもを育てていると、毎日いろいろな発見や悩み、喜びがあることと思います。子どもたちは、家庭、学校、地域と活動の場所を広げながら、さまざまな場所で成長し、「つながり」の大切さを学んでいきます。前々回のコラムでは「自分とつながる」こと、前回のコラムでは「人とつながる」ことについて書きました。今回は、自分自身や他者との「つながり」を通して、「みんなと育む」ことについて考えたいと思います。

子どもを育てていると、毎日いろいろな発見や悩み、喜びがあることと思います。例えば、「地球温暖化について」「困っている人に手を差し伸べること」といったことを考えるにしても、「自分はみんなとつながっている」という感覚があるからこそ、他人事にせずしっかりと考えることができるのです。こうした価値観は、共に支え合うこと、自分の行動に責任を持つことなどを良しとする、未来の社会をつくる大事な力になるのです。このように、「自分はみんなとつながっている」という感覚は、子ども自身の行動に影響を与えますし、広く考えるならば、社会全体にも影響を与えるのではないのでしょうか。

そして何よりも、我々みんなが育んでいる、親子のつながりや仲間とのつながりは、お互いの心を温めてくれる宝物だと思います。お互いのつながりが生む温かさが、社会を育むわけですね。それ故、「自分とつながる」「人とつながる」「みんなと育む」この輪を広げていくことは、子どもだけでなく、親自身や地域、社会、将来をより豊かにしていくてくれるのではないかと思います。

スクールカウンセラー A



My school pride ~私たちの学校自慢~

開 宇治市立大開小学校 創立50周年を迎えました

大開小学校は、昭和51年4月6日開校以来、地域の方々から温かいご支援、ご協力をいただき「地域の学校」として歩みを進めてきました。教育目標は、「夢や希望をもって未来を切り拓く児童の育成」です。人と人との温かいつながりのもと、様々な体験と主体的な学習を通して、希望のある未来・平和な社会を築く「知恵」と「技」と「心」を育てることを目指してきました。

本年度は創立50周年という大きな節目を迎え、児童、保護者、地域、教職員が一丸となり、これまでの学校の成り立ちに感謝の気持ちをこめて、様々な記念事業を計画・実施してきました。そのどれもが、関わった方々の心に残るものになりました。児童の学校を大切に思う心がさらに大きくなりました。



創立50周年記念事業

航空写真撮影

みんなで校庭に大開小学校の校章をつくり記念撮影。上空の撮影用の飛行機に大きく手を振りました。



記念航空写真撮影

記念植樹

ハナミズキの樹を植樹(花言葉は、「永続性」「返礼」)



記念植樹

記念給食

給食委員が考えたテーマで記念給食を立案し、全校児童の投票を実施。その結果「50年前の給食献立(くじらの竜田揚げ・ミルメイク)」が選ばれました。



記念給食

図書選書会

3枚のしおりをもって、体育館に並べられた約650冊の本の中から読みたい本を選びました。



記念図書選書会

記念Tシャツ

児童が考えたマスコットキャラクター「うさこのこ」をデザイン。運動会では、いろとりどりのTシャツを着て演技・競技を頑張りました。



記念Tシャツ作成

記念環境整備

(1)靴箱・傘立て・昇降口・6年教室のペンキ塗り

地域・PTA・教職員が協力してピカピカにしました。市内用務技師に支援していただきました。



傘立てのペンキ塗り



遊具タイヤのペンキ塗り

(2)遊具として廃棄タイヤを運動場に設置仕上げのペンキ塗りは4年生が行いました。



(3)憩いのスペースとしてベンチを設置

大開校区青少年健全育成協議会様から寄贈していただき、ゆうゆう広場の藤棚の下が憩いのスペースになりました。



寄贈されたベンチ



記念運動会

記念式典

多くの来賓の方々をお迎えし、盛大に記念式典を行いました。



南 宇治市立南宇治中学校 51年目が始まりました

MUGs

学校教育目標 未来を見つめ 強く正しく生きよう

南宇治中学校は、昭和51年4月、宇治市第6番目の中学校として、西宇治中学校から分離新設され開校しました。

本校の特色の一つが日本語教室です。外国にルーツのある子どもたちの学ぶ場として平成元年に開室されてから今日まで変わらず、違いを認め合い誰もが他者から受け入れられる「異和共生」の姿勢で学び合っています。異文化を取り入れた全国でも珍しい部活動「中国文化拳術部」もあります。

そしてもう一つは、MUGs(ミナミウジーズ)の取組です。これは、近年国際社会で重視されている「SDGs」の持続可能でよりよい社会を実現するための行動理念を取り入れた学習のことです。総合的な学習の時間「宇治学」の防災、キャリア、地域活性化の学習を17の目標に当てはめて探究的な学習を行っています。毎年1年生の初めにSDGs事業推進機構代表理事の大橋智洋先生の講演から学習が始まり、3年生の地域活性化「自分たちは、地域のために何ができるか」をテーマに「ふるさと宇治」活性化のための「アクションプラン」をプレゼンする活動が集大成となります。修学旅行も、SDGsの目標14「海の豊かさを守ろう」を実践されている岡山県備前市日生町と連携して、「アマモの再生活動・里親プロジェクト」に参加しています。毎年、備前市の職員の方が事前講義のため、アマモ実生ポットづくりのために、遠方より何度も足を運んでくださっています。

実社会とつながることを大切にし、「自ら考え行動する力」「自分で決める力」「最後まで取り組む力」「力を合わせ、自分を認める力」を育てたいと願い、できる限り「ほんまもん」の体験活動を取り入れた学習を行っています。

生徒会スローガン 受け継がれた伝統 未来へつなぐ



50周年記念マスコットキャラクター「みなみん」は校門入って中央にそびえ立つ開校記念樹「くすのき」をモチーフに生徒が考案しました。末永くよろしくお祈いします。



SDGs講演



アマモの回収



地域活性化プレゼン